



待望の改訂版を発行 松戸市戸定歴史館 図録「プリンス・トクガワ」

松戸市戸定歴史館では、令和3年3月末で売り切れになっていた図録「プリンス・トクガワ」の改訂版を発行しました。この図録は、国重要文化財 戸定邸の主「徳川昭武」の生涯を松戸市戸定歴史館の所蔵品とともに紹介した図録です。

2012年に「プリンス・トクガワ」を発行して以来の改訂版です。約10年間の研究成果として、滞欧使節団メンバーのキャリアや2012年以降の収蔵品情報、写真や道具類の詳細データが増補されました。

最新の研究成果とともに、「徳川昭武」が最後の将軍・徳川慶喜の名代として、渋沢栄一たちを随員として1867年パリ万博に派遣された写真をはじめ、幕末から明治の激動の時代を生き抜いた文書、写真、美術工芸品が収録されています。

●図録概要「プリンス・トクガワ」全80ページ・A4型

発売日 令和3年5月1日（土）

販売場所 戸定歴史館・戸定邸受付 ※郵送で購入する場合は事前に戸定歴史館まで連絡

販売価格 1,400円（税込み）

内容 改訂版に増補された主な資料や新発見の事項



志於道

①改訂版新掲載の収蔵品（左）

「志於道」（みちにこころざす） 徳川昭武 1860年

紙本墨書：125.7 cm×28.5 cm

昭武（幼名：余八麻呂（よはちまろ））8歳の書

水戸・弘道館で昭武を教えた水戸藩士の子孫から寄贈。

②新発見の事項（右）

「大理石獅子彫刻」 19世紀後半 大理石

本体：9.0 cm×22.3 cm 高さ13.0 cm

台座：12.5 cm×25.0 cm 高さ6.0 cm

収蔵品に何点かのバリエーションがあるこの獅子彫刻について、19世紀ヨーロッパの流行や当該作品の原型に関する新発見が報告されている。



大理石獅子彫刻



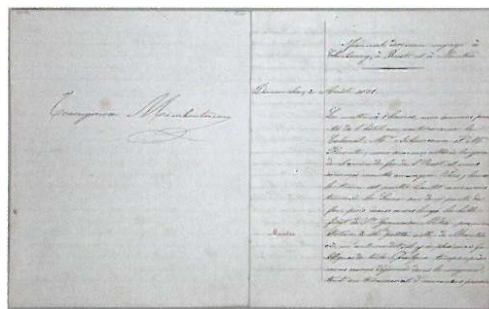
やさシティ、まつど。
matsudo

③研究成果

「徳川昭武滞欧中仏文日記」 徳川昭武

1868年8月2日～10月19日

外国語資料の読解が進み、昭武の細かい感情の動きや当時のパリ現地の様子などが読み取れる。



徳川昭武滞欧中仏文日記

【本件に関する問い合わせ先】

〒271-0092 千葉県松戸市松戸7-4-1

松戸市戸定歴史館 ☎047-361-0056（月曜休館）

FAX 047-361-0056 ✉ mctojourekishi@city.matsudo.chiba.jp